

羅針盤			達成度			改善状況のまとめ	学校関係者評価	次年度の課題
評価対象	評価項目	具体的数値項目	①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①ICT教育を推進している本校の教育活動に積極的に取り組んでいると自己評価している生徒が75%以上である。	B	B	B	ICT機器の活用推進を継続して行い、わかりやすい授業を心掛けた。顕著な成績を積極的に公表し、部活動が活性化することで、他の学校生活の充実に繋がるように努力した。	くくり募集による商業科と情報処理科の選択について、生徒の希望にあった学科選択になるように十分な配慮を心掛ける必要がある。桐生地区の学校再編成に向けて、桐商の特色をだすための努力をして欲しい。	ICT機器に関しては、適正な管理と適正な使用方法を徹底するとともに修繕が必要な場合についての対応を迅速に行う。部活動等の生徒の活躍については、Webページや桐商だよりを通じて随時発信していく。
		②部活動を推進している本校の取り組みに所属生徒の75%以上が積極的である。	A	A	A			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	③「授業が分かりやすい」と生徒の80%以上が答えている。	A	A	A	アクティブラーニングをテーマに職員研修や研究授業を行い、授業の改善を進め、生徒が主体的に学べる指導方法の研究を行った。資格取得の重要性を新入生オリエンテーションや集会等で折に触れて指導してきた。	育てたい生徒像を明確化し、行事の精選を行い、充実した行事を行って欲しい。課題研究の発表会において、企業の課題解決プロジェクトは今後も継続してもらいたい。教える時間を短くし、考える時間を長くすることで、生徒の主体的な学びを育てていく工夫をして欲しい。	授業等への取組は評価できるが、家庭学習は充実しているとは言い難いので、生徒が自主的に学ぶ環境になるように授業改善を行っていく。検定に合格することが目的ではなくそれを生かして何ができるのか、何をするのかを目的として学習を進めさせる。また全商協会主催の検定試験だけでなくより高度な資格取得についてよい流れを継続し進路実現に結びつける工夫をする。
		④資格取得に向けた指導に生徒の85%以上が意欲的に取り組んでいる。	A	A	A			
	3 生徒は確かな学力を身につけていますか。	⑤学習に対する達成感・満足感をもっている生徒が75%以上である。	B	B	B	朝学習や学年単位、部活動単位での補習を行い、学習のつまづきのある生徒に対して対策を講じてきた。検定合格率は2学期終了時点で73%であった。		
		⑥全商関係の検定試験合格率が70%以上である。	B	A	A			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑦学年会議・校務運営委員会・職員会議等で生徒に関する情報交換を毎週実施し、教職員の連携強化を図っている。	A	A	A	各種会議で情報共有の重要性の認識を図り、教職員が一体となった指導を目指してきた。各種行事において生徒が立案した企画を取り入れることにより、主体的な活動を促してきた。毎月1回を目安に校舎内外の清掃活動を行い、美化を推進してきた。いじめは問題の把握が難しいが、教育相談アンケートの活用など、早期発見・早期対処を心掛けてきた。	いじめ問題について、対応をしっかりと行い、十分な見守り体制を整える必要がある。また、生徒に寄り添う指導を心掛けて欲しい。小・中学校並みに良く観察し、管理・監督を緩めないで欲しい。楽しくあるべき学校生活を奪ってしまうので十分な注意が必要である。	職員間で共通理解されたことが、どう効果的に連携して指導できるか、組織の見直しを行い効率的効果的に行える体制を作る。校内設備の整備については、公共物を大切にすの心育成も必要である。いじめの撲滅に引き続き努力し、生徒に寄り添う姿勢を貫く。
		⑧生徒会行事や各種専門委員会など、生徒会活動が充実していると評価した生徒が70%以上である。	B	A	A			
		⑨校内の美化・安全点検を各学期に1回以上実施している。	B	A	A			
		⑩いじめの防止に努め、いじめの解消率が100%である。	B	B	B			
	5 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑪家庭との連携を密にして欠席率・遅刻率が1.0%以下である。	A	A	A	1学期終了時点で、欠席率0.6%、遅刻率0.1%、早退率0.1%であった。2学期終了時点では、欠席率0.9%、遅刻率0.2%、早退率0.2%と増加傾向にある。毎朝の登校時指導や集会時に服装確認を行っている。	生徒は明るくよくあいさつをする。コミュニケーションを図る素地ができている生徒が多く好感が持てる。服装がしっかりしており指導が行き届いている。	出席状況は例年と大きな違いはないが、改善する余地は大きい。インフルエンザの流行により、学級閉鎖・学年閉鎖を行った。健康管理を行うことも社会人として必要であることを認識させる指導をしていく。朝読書の取組は、遅刻防止にも効果的であるが、時間の経過とともに意識が低下する傾向があるので、図書館利用促進や魅力的な書物導入など行う。
⑫挨拶や服装、遅刻防止指導など学校の生活指導は充実していると感じている生徒が85%以上である。		A	A	A				

羅 針 盤			達 成 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題
評 価 対 象	評 価 項 目	具 体 的 数 値 項 目	①	②	総 合			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	6 計画的な指導を行っていますか。	⑬学校から提供される進路情報が役立っていると評価する生徒が80%以上である。	B	A	A	<p>桐商たよりなど生徒の実態にあった情報発信を継続して行い、進路に対する意識を高めている。コミュニケーションや挨拶の大切さ、服装や言葉遣いに関するアドバイスやベネッセの診断テストの見方など内容は多岐にわたり社会で生きる力を生徒に身につけさせる情報についても発信した。</p> <p>1年生を対象に卒業生や3年生が自らの進路体験を語る会を実施。早期から進路目標を設定させる取り組みを行った。</p>	<p>公務員試験の対策等、今後もきめ細かい指導をお願いしたい。</p> <p>将来何をしたいか、何を勉強したいかというビジョンができています。販売実習を通じて社会勉強ができています。</p>	<p>生徒だけでなく、保護者や職員向けの情報発信の方法を工夫し、親子で適切な進路選択ができる環境を整える。LHRや学年集会等で進路に関する指導が行われてきた。職員全体が進路に関する共通理解を持つ方向へ進めていく。</p> <p>1年生を対象に卒業生や3年生から進路体験を語る会を行った。身近な先輩からの話を聞いたことがよい刺激となったので今後も継続していく。</p>
		⑭進路通信を年間10回以上発行し、生徒・保護者へタイムリーな情報を提供している。	A	A	A			
	7 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑮「自己の生き方」と「将来の職業」との関連について真剣に考えている生徒が80%以上である。	A	A	A			
		⑯進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	A	A	A			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	8 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑰学年別保護者会に積極的に参加している保護者が95%以上である。	A	A	A	<p>3学年は240/243で、98.8%、 2学年は234/240で、97.5%、 1学年は225/241で、93.4%。 ふれあいメールを使って行事や生徒に配布したお知らせの周知を行った。</p> <p>学校説明会では、保護者や中学生のほとんどが理解に役立ったと考えている。中学校へ出向いての説明会、合同説明会、ホームページの充実など本校の教育活動を理解してもらおう努力をした。</p>	<p>中学生や地域など外部の人向けに、学校の様子を分かりやすく発信する努力をすると、更に学校の魅力が増すと思う。</p>	<p>中学校で行った説明会では、商業で学習する内容も踏まえて説明を行ってきた。今後は、ICTを活用し、より分かりやすい内容にしていく。また、学校説明会やオープンスクールにおいて他校と比較した意見もあった。学校間で他校と情報交換をして改善していく。</p>
		⑱学校説明会、オープンスクール、保護者参加事業等で学校の教育活動を理解できたと感じる参加者の割合が90%以上である。	A	A	A			